

ヒマラヤ国際映画祭とは

ヒマラヤの自然や伝統的文化、環境問題、紛争、チベット問題など、ヒマラヤから発せられている様々なメッセージを伝えるアムステルダム・ヒマラヤ国際映画祭は'03年より開催されています。作品の舞台はブータン、中国、チベット、ネパール、インド、パキスタンに及び、ヒマラヤの自然と人の壮大なドラマがスクリーンに展開されます。'06、'08年には東京でも開催され、この度厳選したドキュメンタリー映画30本が京都と神戸にやって来ます。真実だけが伝えられる感動をお見逃しなく。

ヒマラヤ国際映画祭の作品の舞台

●ヒマラヤ山脈はインド亜大陸とチベット高原を隔てている無数の山脈で構成される。その長さは日本の本土がスッポリ収まる全長2400km ●インダス川、ガンジス川、長江など巨大河川の水源地(水系人口7億5千万人) ●地球最高峰エベレストを含む14の8000m級峰の他、7000m級の山が100以上 ●仏教・ヒンズー教の発祥地 ●氷河の融解、経済発展と伝統保持の葛藤、チベット問題、カシミール問題、ネパール内戦、人権問題、貧困等々、ヒマラヤは現代の世界を写し出す鏡です。



全作品日本語字幕付き

部門別作品リスト

※1プログラムあたり2作品をセットで上映します。(ただし一部例外あり。詳しくは裏面「スケジュール」、「料金」をご覧ください)

環境部門

1 メルトダウン - 氷河融解



温暖化によって"世界の屋根"ヒマラヤの環境が深刻な危機に晒されている。この数十年間に氷河は急速に融けて後退し、氷河湖が随所に出現している。湖が決壊した時、村は瞬時に消える。国連調査隊が現地を目撃したものは…。深刻な被害と恐怖を訴える驚愕のルポ。

監督:リチャード・ヒーブ/2004/イギリス/50分

2 残すのは足あとだけ



観光は地元の雇用を増やし国庫を潤す一方、ごみ、自然破壊、インフラ不足などの問題をもたらす。インド内ヒマラヤのさまざまな観光地の現状と改善への取り組みを見つめ、自然・文化・経済に優しいエコフレンドリーな観光とは何かを考える。

監督:サンジェイ・バーネラ/2007/インド/36分

3 草地戦争



1999年、インド・ヒマチャル州のクク谷の村民たちは、国立公園設立のため、先祖代々受け継いできた地域での放牧と薬草採取の権利を失った。諦めかける村民たち…。しかし、予定地にダム建設の話が持ち上がり、環境破壊の危機を前に行政への不信感と怒りが再燃する。

監督:サンジェイ・ヴァサント/2001/インド/40分

冒険部門

4 天国の森



ネパール・北ゴルカ地方、"天国"と呼ばれるシアラの森では、人々が豊かな森を古より尊んできた。しかし、貧困や生活スタイルの変化により、大木が次々と切り倒され金品に換わる。共存してきた村の間で争いも起こる…。天国の森は一体どうなるのか。

監督:モハン・マイナリ/2004/ネパール/40分

5 天空を駆ける



インドライダーが単独でムンバイより世界最高所の高原・チャンタン高原をめざし、5000キロの旅に出る!そこは平均高度4500メートル、冬にはマイナス40度にもなる場所だ。広大な自然、深遠なるチベット文化、遊牧民との交流の日々…。ロードムービーの傑作といよいよ関西初公開。

監督:ガウラヴ・ジャニ/2006/インド/90分

6 盲目のクライマー



世界初、盲目の男性が世界最高峰・エベレストをめざす。氷河、垂直の岩壁など、危険と隣り合わせの挑戦は彼にとって一体何を意味するのか。誰も想像し得ない感動と興奮が"宇宙の中心"たるエベレストの頂きへと集約されていく。不可能を可能にする意志の力、魂の記録。

監督:マイケル・ブラウン/2003/アメリカ/75分

7 雷龍の国へ!



雷龍の国、秘境ブータンを一輪車で旅する冒険野郎たち。険しい山も颯爽と飛ばす!初めて見る奇抜な乗り物に地元では大人も子供もびっくり。偉大なヒマラヤ山脈に抱かれ、各地で新たな交流が生まれる。神秘の国を舞台にした驚異のアドベンチャー!撮影テクニックも必見。

監督:シーン・ホワイト/2003/カナダ/45分

8 ヒマラヤの空から



ヒマラヤの山々を滑空する。それは"鳥の旅"だ。ヒマラヤを代表する8000メートル峰・アンナプルナが間近に迫る。"鳥人"たちは空から村々へと舞い降りる。ここでは、村人たちの暖かきもてなしが待っていた。パラグライダーとヒマラヤに魅せられた男たちの冒険と交流を描く快作。

監督:ニール・マイケリス/2000/アメリカ/45分

9 運命の高峰



山岳ガイドのマークは友人の長年の夢を叶えるためエベレストへ向かった。二人は苦悶の末登山を果たすが、8000メートルを超える高所で一夜を明かすことに。やがて二人に悲劇が訪れる…。ヒマラヤ登山という過酷な挑戦とロマンを巡る"死"と"再生"の物語。

監督:ジェームス・ヘイワード/1996/ニュージーランド/52分

政治・人権部門

10 死の領域を越えて



ヒマラヤ8000メートル峰、人間を寄せ付けない"死の領域"にあえて挑むのがクライマーたちだ。しかし世界中のクライマー達が驚愕する登攀に挑む猛者が現れた。三つの巨大な峰々をわずか2ヶ月の間に制覇しようというのだ。スーパーアルピニスト驚異の挑戦に一瞬たりとも目が離せない。

監督:シャイ・J・カット/2003/フランス/50分

11 チベットへのキックオフ



2001年、デンマークで画期的な国際サッカーゲームが行われた。「グリーンランドVSチベット」。チベットは難民メンバーによる初の"ナショナルチーム"だ。中国政府による横やりが入るも、ゲームは決行。チベットサッカー史上初のゴールが生まれる!

監督:アーノルド・クロイガード&ラスムス・ディネセン/2003/デンマーク/54分

12 少女とアイスホッケー



インド・ラダック地方の少女ドルカと友人たちはアイスホッケーが大好き。トーナメント参加をめざすが、スポーツクラブは女性がスポーツをすることに難色を示す。用具が揃い、イスラムの女性たちとの混合チームが結成された。果たしてドルカたちは参加できるのか…。

監督:ハカン・ベルタス/2006/スウェーデン/58分

13 チベット難民 - 世代を超えた闘い



チベットが中国に侵略され、ダライ・ラマがインドへ亡命してから既に40年。インド北西部のダラムサーラに暮らす難民も既に3世代目だ。だが「第3世代」の未だ見ぬチベットへの思いは衰えを知らない。そして若い世代を中心にチベット解放への願いを込めた「平和行進」が若者を中心に今始まるようとしている…

監督:田中邦彦/2002/日本/108分

14 安らぎはいずこに?



60回目のインド独立記念日、ジャンム・カシミール州のジュリナガルにも国旗があがる。だが、道路に人影はなく閑散としている…イスラム教分離独立派とインド政府軍との長年にわたる闘いが暗い影を落としているのだ。18年に及ぶ闘いで、6万人が死亡し、7万人が行方不明…カシミールの人々の嘆きは深まるばかり。インドが目指す民主主義とは、

監督:サンジェイ・カク/2007/インド/136分

15 銃を取った女性たち



10年に及んだ毛沢東主義派ゲリラと政府軍との戦闘はネパールを内戦状態とし、1万人以上の死者を出した。ゲリラには女性兵士が多数いた。彼女たちは、なぜ兵士となる道を選んだのか?ネパールの女性たちへのDVや差別の現状が明らかになっていく。

監督:スピナ・シュレッサ/2006/ネパール/23分